

大学不合格体験記

3.8点足りずに僕は去年、大学に落ちました。

そして今年、一年の猛勉強を経てリベンジを果たしました。浪人を経て僕が感じたことはたくさんありますが、普通の合格体験記では語られないような大学に落ちたからこそ感じた事を話したいと思います。

今振り返ってみると高校3年生の頃までの僕は、人生をなめていました。

小・中・高とお世話になった学志舎では、定期テストごとに「どれだけテスト勉強に対して努力できたか」を%で表すという取り組みがあったのですが、100%と書いたことがありませんでした。

しかしそれなりに結果が出ていたことで慢心していました。

何かあると部活動や環境のせいにしてなんとなくやり過ごしていました。

そして気づけば高3の夏。そこからは将来やりたいことを明確にし、100%に近い努力を続けました。

しかし結果は不合格。この結果でようやく自分は考えが甘かったんだと気づかされました。

また大学受験に限らず、何か成果を出すということはとても難しいことだと知りました。

だんだんと大学入試が推薦の割合が増えていく中でもやはり、

一般入試の勉強を経験して得られるものはとても大切だと思います。

受験を通して思ったこと。まずは自分のやりたいことができる環境へ感謝をすること。

次にSNSとの付き合い方。計画性を持って主体的にすることです。

塾長が常に言っていた「今の自分の100%を出し切れ」という言葉がこの時身にしみてわかりました。

この1年、本当にきつかったです。しかしこの経験で今後どんなことでも乗り切っていける自信がつかえました。

受験勉強で得た財産を基にこれからの人生、全力で楽しみたいです。



入塾したばかりの頃

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

「卒塾生 学志舎で語る」 vol.15



「卒塾生 学志舎で語る」
バックナンバーはこちら

星谷 惺

北海道大学 歯学部 合格

以下、星谷さんと塾長の入試発表後のやりとりです 【LINE】2024年3月7日(木) 21:50

約7年間本当にありがとうございました。先程は言いたいことがいっぱいあったけど、想いがこみ上げてきそうだったので文書で書きたいと思います。

まず、学志舎に入るまでの僕は自分の頭で考えるということをしない人間でした。しかし、自律ということがどのようなもので、人生においてどのように重要なのかを学志舎にいた7年間で自分なりに解釈し、身につけることができたと思います。中学時代の僕は、勉強の目的というのにこだわり、岐阜高校に進学することができました。さらに高校生時代には、塾長が時折話してくれた政治や経済の話、歴史の話や物事を多方面から見たうえで、今世の中にある情報を自分の頭でフィルターにかけてから受け入れることの重要性を教えてもらいました。世の中の問題や高校での勉強の意義について自分なりに調べたり考える中で物事を多方面から見る力は本当についたと思います。勉強や野球のこととかでたくさん相談に乗って頂いたし、他の塾では絶対学べない人として重要な力をこの7年間でたくさんつけることが出来たと思います。ありがとうございました。良い報告ができると良かったのですが、期待に沿うような結果でなくて本当に申し訳ないです。でも、小学校から高校の7年間学志舎で学ばせていただいたことに本当に感謝しています。これからの一年はもっと人として成長できるチャンスがあるいい機会だと思います。この一年を無駄にせず、感謝を忘れずに前向きに頑張ります。来年こそは良い報告をするので待っていてください。本当にありがとうございました。

意味のない事象はない。今回の結果を人生においてどう活かすか、それが大事だと思う。何かが終わった瞬間、次の何かが始まっている。未来に向かって走れ！これまでありがとうな。

2025年3月6日(木) 9:15

お久しぶりです。星谷です。北大歯学部合格しました！
一年遅れての合格報告になり申し訳ありません
学志舎での経験がなかったらこの一年も頑張れなかっただろうし、本当に今の自分があるのは塾長のおかげです。
ありがとうございます。

おめでとう！
惺なら必ずリベンジするやろうとは思っていた。本当に良かった。
一度挫折をし、それを乗り越えた者ほど強くなれるし、人に優しくなれると思う。最高の知らせをありがとう。

私が彼の担当になったのは高校2年生の秋でした。
軟式野球部で部活に打ち込み、へとへとに疲れた状態で塾に来ていた星谷くん。
2年生までは高校で出される宿題も提出が遅れ授業の復習も追いついていなかったため、大学受験を乗り切れるのだろうかかと正直少し不安でした。
しかし3年生になり志望校が明確になってから星谷くんの目つきが変わったのを鮮明に覚えています。どんなに疲れていても毎日やるべき勉強をこなせるようになり、分からない問題も放置せず理解できるまで質問し演習することができるようになりました。
マンツーマンのときには「教えてもらうことを吸収して自分のものにするんだ」という真剣な表情をしていて、指導にも熱が入りました。
長期休暇の講習中には早朝から夜遅くまで塾に籠って勉強し、問題を解くのに使った紙が机の脇に大量に積み上がっていましたね。学習内容がびっしり書き込まれた計画表を毎日こなしていく姿に志望校への熱い思いがひしひしと伝わってきました。
受験前最後の授業。「これだけ努力したから悔いはないです、全力で頑張ってください」と受験に向かう背中には力強く頼もしかったです。希望する進路への進学、本当におめでとう。
素敵な笑顔の星谷くんが笑顔の春を迎えられてとても嬉しいです。
大学生活も楽しんでね！

担当コーチ 岩田千紗子 岐阜大学 医学部



学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00~21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索